



2024年5月30日

各位

会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 津村 尚史
(コード番号：3446 東証プライム)
問合せ先 取締役 管理部長 日谷 哲也
(TEL. 072-655-2785)

当社“Osaka Mirror”大型受注のお知らせ

当社はこの度、世界の放射光施設及びX線自由電子レーザー施設より、合計約4.1億円の大型受注を取得いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 受注内容

- (1) 納入先(地域): Lawrence Berkeley National Laboratory (略称 LBNL)、Advanced Photon Source (略称 APS)、National Synchrotron Light Source II (略称 NSLS II) 等の米国各放射光施設

受注時期: 2024年4月～5月

受注額(合計): 約1.6億円

納入時期: 2025年6月以降

- (2) 納入先(地域): 国内放射光施設 NanoTerasu、SPring-8 及びX線自由電子レーザー施設 SACLA などの国内各施設

受注時期: 2024年4月～5月

受注額(合計): 約1億円

納入時期: 2025年6月以降

- (3) 納入先(地域): 中国放射光施設 Shanghai Synchrotron Radiation Facility (略称 SSRF) 及び硬X線自由電子レーザー施設 Shanghai High repetition rate XFEL and Extreme light facility (略称 SHINE) 等の中国各施設

受注時期: 2024年4月～5月

受注額(合計): 約1.5億円

納入時期: 2025年6月以降

なお、今回の受注内容、その他詳細な内容につきましては、受注相手先に対する営業秘密保護の必要性から非開示としております。

また、当該受注案件は昨年にPR情報としてリリースいたしました各大型受注案件とは異なる案件となります。

2. 今後の見通し

当社が高精度ミラーを納入しているこれら施設では、高輝度のX線を生成し、物質の構造やダイナミクスの分析等で物質科学や生命科学の分野で幅広く利用され、基礎研究だけでなく、企業の製品開発など産業利用も活発に行われております。

放射光施設やX線自由電子レーザー施設は、世界的に見てもリサーチコンプレックス（複合型イノベーション推進基盤）の中心的存在に位置づけられております。国内だけでなく欧米や中国、韓国、台湾を中心とした東アジア等、世界各地において次世代へのバージョンアップや新しい施設の計画が順調に進んでいることから、当社のオプティカル事業におきましても引き続き堅調な需要が見込まれております。分析の高度化に伴い、当社のX線高精度ミラー“**Osaka Mirror**”の引き合いが増えていることから、今後の更なる受注増につながるものと期待しております。

なお、当該案件は2025年6月以降の納入を予定しております。当社は検収基準を採用していることから今期2024年6月期の業績予想において想定しておりません。また、来期2025年6月期以降の業績に与える影響は現在精査中です。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに情報を開示いたします。

以 上